学校番号	２１４

令和８年度　公民科

教科	公民科	科目	公共	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高校生の公共（帝国書院）						
副教材等	クローズアップ公共２０２６（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

世界中で起きていることに常に関心を持ってほしい。また、教科書や資料集に書かれている内容を「自分事」として捉え、この問題について自分はどう考えるのか問いかける姿勢を身につけてほしい。

公共で学んだことを土台として、３年時に開講されている政治経済で学習内容をさらに深めていくことになるので、これらの科目を選択する人は、特に知識の定着をはかるように復習をしっかり行うこと。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
現代社会と人間としてのあり方生き方とに関わる基本的な事柄について知識を身につけている。
【思考力、判断力、表現力等】
現代社会と人間に関わる事柄から課題を見いだし、広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、様々な方法で適切に表現している。
【学びに向かう力、人間性等】
現代社会と人間に関わる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、社会的事象を主体的に考察しようとする態度を身につけている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代社会の基本的問題と人間としてのあり方生き方とに関わる基本的な事柄や、学び方を理解し、その知識を身につけている。	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄から課題を見いだし、社会的事象の本質や人間としてのあり方生き方について広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、社会的事象を総合的に考察しようとする態度と平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身につけ、現代社会に生きる人間としてのあり方生き方について自覚を深めようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	人間としてよく生きるために	・青年期の意義 ・青年期の課題 ・源流思想 ・近代哲学 ・現代思想	a:青年期の諸課題を理解した上で、人間について深く考察しようとしている。 b:古今東西の哲学、思想を題材として、人間について広い視野に立って多面的・多角的に考察しようとしている。 c:現代社会の諸課題に関心をもち、意欲的かつ客観的に考察しようとしている。	単元テスト	単元テスト 課題 発表	授業態度 課題 発表
2学期	日本国憲法と国民生活	・人権保障の発展と現代社会 ・国民主権と民主政治の発展 ・日本国憲法の成立 ・平和主義と日本の安全 ・基本的人権の保障 ・人権の広がり ・政治機構と国民生活 ・人権保障と裁判所 ・地方自治 ・選挙と政党 ・政治参加と世論	a:日本国憲法や政治制度、選挙制度を理解している。 b:日本国憲法や政治について広い視野に立って多面的・多角的に考察しようとしている。 c:日本国憲法や政治に関心をもち、意欲的かつ客観的に考察しようとしている。	単元テスト	単元テスト 課題 発表	授業態度 課題 発表
3学期	現代の経済社会と政府の役割	・経済社会の形成と変容 ・市場のしくみ ・現代の企業 ・経済成長と景気変動 ・金融機関の働き ・政府の役割と財政・租税 ・日本経済の歩みと近年の課題 ・中小企業と農業 ・公害防止と環境保全 ・消費者問題 ・労働問題と雇用 ・社会保障 ・持続可能な社会の主体となる私	a:経済の基礎的な理論や知識を理解している。 b:経済の基礎的な理論や知識に基づき、現代社会の諸問題を広い視野に立って多面的・多角的に考察しようとしている。 c:経済の基礎的な理論や知識に関心をもち、意欲的かつ客観的に考察しようとしている。	単元テスト	単元テスト 課題 発表	授業態度 課題 発表

		たち				

※　以上の内容は，生徒の状況等により変更されることもある。また，時事的問題をできるだけ授業で取り上げるため，授業内容の順番は随時，フレキシブルに変更される。

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度